

ひらつか在宅介護生活サポートガイド 普及啓発について

1. サポートガイドとは

看取り期に焦点をあてた在宅生活における留意点や必要な支援、対応の仕方などを分かりやすく紹介するリーフレットです。令和5年2月に医療・介護関係機関から構成された「在宅介護生活サポートワーキンググループ」を立ち上げ、全6回の会議を重ねて作成しました。[資料 2－2](#)

2. サポートガイドの配付対象

サポートガイドは、在宅での看取りを支える医療職・介護職の連携をサポートすることに重点を置いていますので、配付対象としては医療職や介護職等の支援者を対象としております。ただ、リーフレットの内容は、市民の方が見ることも想定した構成となっており、在宅医療や看取りに関する普及啓発も兼ねておりますので、必要とする市民の方には、支援者を通じて配付する予定です。配付に当たっては、サポートガイドの使い方の研修等を実施した上で行います。

3. 令和6年度の普及啓発の予定について

(1) 動画の作成と配信

市内医療職員・介護職員を対象に、サポートガイド作成の経緯、サポートガイドが渡される場所や、職種毎の使用する場面の紹介。研修に参加できない方向けの動画で、医療職員・介護職員の限定配信を予定しています。

(2) 研修の実施

①多職種研修

サポートガイドを本人・家族へ渡して説明する職員向けに、多職種研修として実施を検討しています([資料 2－3](#))。サポートガイド作成の経緯やサポートガイドの使い方([資料 2－4](#))、グループワークなどを想定しています。

②介護職員向け研修

在宅へ訪問する介護職員向けには、看取りの場面でも焦らないよう、看取りに関する知識の向上やサポートガイド活用方法の紹介を目的とした研修を検討しています。

以 上